Ⅱ．海外経済

		４月	５月
世界経済		世界の景気は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している。 先行きについては、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、アメリカの金融緩和縮小による影響、中国やその他新興国経済の先行き等について不確実性がみられる。また、地政学的リスクに留意する必要がある。	（変更なし）
アメリカ		アメリカでは、景気は緩やかに回復している。 先行きについては、緩やかな回復が続くと見込まれる。ただし、金融緩和の縮小による影響等に留意する必要がある。	（変更なし）
アジア地域	中国	中国では、景気は緩やかに拡大しているが、このところ弱い動きもみられる。 先行きについては、緩やかな拡大傾向が続くと期待される。ただし、輸出や金融市場の動向等によっては、景気が下振れするリスクがある。	中国では、景気の拡大テンポは緩やかになっている。 先行きについては、緩やかな拡大傾向が続くと期待される。ただし、輸出や金融市場の動向等によっては、景気が下振れするリスクがある。
	韓国、台湾	韓国、台湾では、景気は持ち直している。先行きについては、持ち直し傾向が続くと見込まれる。また、輸出の動向に留意する必要がある。	（変更なし）
	インド	インドでは、景気は底ばい状態となっている。先行きについては、当面、低めの成長にとどまることが見込まれる。また、物価の動向を含め、通貨安の影響等に留意する必要がある。	（変更なし）
ヨーロッパ地域		ヨーロッパ地域では、景気は持ち直しの動きがみられる。英国では、緩やかに回復している。 先行きについては、次第に持ち直しに向かうことが期待される。ただし、政府債務問題等への対応やその影響、失業率が高水準であること等に留意する必要がある。	ヨーロッパ地域では、景気は、全体としては持ち直している。ドイツでは、緩やかに回復している。英国では、回復している。 先行きについては、持ち直し基調が確かなものとなることが期待される。ただし、政府債務問題等への対応やその影響、失業率や物価の動向等に留意する必要がある。